

## No. 151

### \* 研究テーマ

人生100年時代における高齢者の生活保障に関する検証：教育・資産管理・暮らしの視点

### \* 研究目的

国内のリカレント教育は中壮年対象の再教育の展開が多く、高齢者を対象とする教育には限りがあるなかで、海外では高齢者を対象に安定・安心の暮らしを目指したリテラシー教育で展開されている。本研究は、人生100年時代を迎える高齢化社会を見据え、国内の社会動向を踏まえた高齢者のリテラシー教育の視点からの新たなリカレント教育の構築に向けて、3部構成で各専門性から学際的かつ実証的に研究を行う。第1部（小西担当）では、国内外のリカレント教育の実態を国際的な視点から実証的に詳らかに明らかにし整理していく。次いで、高齢者の安定・安心した暮らしの構築に向けて第2部では利用者側の立場から法学の視点で（冷水担当）、第3部では供給側の立場から経済的な視点で（足立担当）、国内の実態とそのニーズを判例、事例、およびデータに基づいて検証していく。最後に総括として、本学の地域連携で展開されているリカレント教育で、「高齢者の暮らしのリテラシー教育」をテーマに実践的な教育として報告を行うこととする。

### \* 研究チームメンバーと研究課題・分担課題

小西幸男（研究幹事） 全学共通教育センター・准教授

研究課題：人生100年時代における高齢者の生活保障に関する検証  
教育・資産管理・暮らしの視点

冷水登紀代 中央大学法学部・教授

分担課題：高齢者をとりまく生活上のリスクについて、本人がどこに住むのか、単身者か、配偶者がいる者か、夫婦と子世帯なのかなどの諸条件の中でどのような法的支援を講じられているのかを介護・扶養・寄与分に関する学説・裁判例を法学的視点から検証する。

足立泰美 経済学部・教授

分担課題：高齢者向け住まいについて実態の分析から高齢者のニーズに即した有効な住生活基本計画とはどのようなものであるかを高齢者向け住まいにおける経営実態を経済学的視点から検証する。